

長野市都市緑化基金の推移

昭和 60 年に（財）長野市都市緑化基金が設立され、長野市（約 3 億円）及び 52 の民間企業等（約 1 億円）からの寄付金約 4 億円余りを基本財産とし、ここから得られる運用収入を主な財源として、生垣の設置補助、プランターの提供、花鉢のコンクール・写真コンテスト開催などの事業を行ってきた。

しかし、長引く低金利により運用収入が大幅に減少し、財団の運営が困難となったため、平成 18 年 2 月 10 日をもって財団は解散した。

この解散により、残った財産 4 億 484 万 1,757 円は、財団の規約である寄附行為に基づき長野市が寄附を受けた。市は寄付金を長期的かつ継続的に有効活用するため、新たに市の基金として「長野市都市緑化基金」を設置した。

現在、緑化推進費の予算は、街路樹管理費、緑化樹木配布費等を除き、緑化基金の運用収益、基金取崩金を一般会計に繰り入れ、事業予算（特財）としている。

解散時の寄付金 4 億 484 万 1,757 円は平成 31 年度当初時点で 5 千 787 万 9,438 円となっている。（H30 度取崩額 3 千 790 万円、H31 年度取崩予定額 3 千 618 万円）

このままの状況が続くと、令和 2 年度（平成 32 年度）からの緑化推進事業の予算が組めなくなる。

（基金残高）	（補助金）

緑化推進費（長野市都市緑化基金から支出している事業）

主な事業	平成 3 1 年度	令和 2 年度
・ ながの花と緑大賞	見直しのため休止	○
・ 記念樹配布事業（小学校入学・新築）	○	<新築>廃止予定
・ 保存樹木樹林管理補助金	○	○
・ 保存樹木樹林診断・大規模剪定補助金	○	見直し予定
・ （一財）ながの緑育協会補助金 （H30 30,000 千円）	2 6 , 0 0 0 千円 交付	補助金廃止
・ 事業所等緑化補助金	廃止	